

### はっぱのおうち



征矢 清／作  
林 明子／絵  
福音館書店

さちが雨やどりをしているはっぱのおうちには、いろいろなお友だちもやってきました。そのうち、空が明るくなって「ほんとのおうちにええろう」。おかあさんが待ってるよ。豊かな表情がほのぼのさせてくれる絵本です

### おふろだいすき



松岡 享子／作  
林 明子／絵  
福音館書店

ぼくは、一人でおふろに入ります。あひるのプッカも一緒です。プッカがお湯にもぐると、そこには、なんとカメが！そして、次から次へといろいろなものがあらわれます。おふろのきらいな子におすすめの一冊です。

### ぼくはあるいたまっすぐまっすぐ



M・ワイス・ブラウン／作  
坪井 郁美／文  
林 明子／絵  
ペンギン社

ぼくは、はじめて一人でおばあちゃんのおうちに向かいます。はじめて出会うものを「こわいものかな？」と思いながらもまっすぐ歩いていきます。男の子の冒険心がほほえましい絵本です。

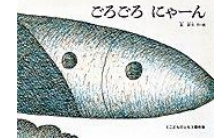
### はけたよはけたよ



かんざわとしこ／ぶん  
にしまきかよこ／え  
偕成社

たつくんはまだ上手にばんつがはけません。はだかのまんまで外へ出かけたから、動物たちに「しっぽがない」と笑われてしまいました。たつくんのようにばんつをはくとき「どでん！」と失敗してしまう子どもたちに寄り添ってくれる絵本です。

### ごろごろにゃーん



長 新太／作・画  
福音館書店

「ごろごろ にゃーん ごろごろ にゃーんと、ひこうきは とんでいきます」この文章が繰り返されるだけのこの絵本。何故この絵本がおもしろいのか？と不思議に思う方もいますが、絵を見るといろいろな事が想像できて楽しくなることでしょう。

### おやすみなさいコッコさん



片山 健／作・絵  
福音館書店

夜。すぐにねむらない女の子がいます。コッコさんです。「おやすみなさい コッコさん」と月が静かに語りかけます。心地よい言葉に いつのまにか、一緒にうとうと眠ってしまうような・・・。

### くまのコールテンくん



ドン＝フリーマン／作  
まつおか きょうこ／訳  
偕成社

おもちゃ売場のくまの人形を一目で好きになり、自分の貯金をはたいて買いに行くリサとくまのコールテンくんの心のふれあいを描いています。「ともだち」がテーマのこの絵本は、いつまでも心に残る一冊となるでしょう。やさしい心が伝わってきます。

### わにわにのおふろ



小風 さち／文  
山口 マオ／絵  
福音館書店

わにわにがお風呂に入ります。お風呂にお湯をためて、お気に入りのおもちゃをお湯に浮かべます。せっけんの泡をとばして、歌も歌います。見た目はちょっと怖いわにわにですが、仲良くなれそう。シリーズで「わにわにのおでかけ」「わにわにのおおけが」などがあります。

### 三びきのやぎのがらがらどん



マーシャ・ブラウン／絵  
せた ていじ／訳  
福音館書店

ノルウェーの昔話です。ダイナミックな絵と せたていじの訳した言葉がとてもすばらしい絵本です。この絵本を読んで育った大人も多いのでは。長年、子ども達が大好きな絵本の一つです。親子で楽しめることでしょう。

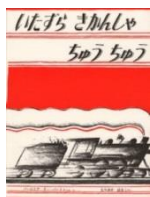
### すやすやタヌキがねていたら



内田 麟太郎／文  
渡辺 有一／絵  
文研出版

「すやすやタヌキがねていたら すやすや〇〇もねむるでしょう」幸せそうに眠る動物たちの表情と、耳に心地よく繰り返される言葉に、あたたかく安心した気持ちになります。おやすみ前にゆったりと読んでみたい一冊です。

### いたずらきかんしゃちゅうちゅう



V・リー・パートン／文・絵  
むらおか はなこ／訳  
福音館書店

1943年「ちいさいおうち」でコールデコット賞を受賞したパートンのデビュー作です。機関車が好きな長男のために書かれたというこの絵本は、日本では、1961年に出版され、世代を越えて愛され続けています。

### かしこいビル



W・ニコルソン／作  
まつおか きょうこ／訳  
よしだ しんいち／訳  
ペンギン社

おばさんのおうちへお泊まりに行くメリーちゃん。お父さんに借りたトランクに荷づくりをしましたが、なんと!!人形のピリーを入れ忘れたのです。スピード感のある展開がみどころの絵本です。

### せきたんやのくまさん



P・ウォージントン／作・絵  
S・ウォージントン／作・絵  
いしい ももこ／訳  
福音館書店

せきたんやのくまさんは働き者です。荷馬車に乗って、毎日石炭を売りに出かけます。いろいろな家で石炭をどかん！どかん！とおろします。仕事が終わると家の暖炉の前でお茶を飲み絵本を読みます。地味な絵本ですが、心に残ることは確かです。

### のろまなローラー



小出 正吾／作  
山本 忠敬／絵  
福音館書店

1967年に出版されて以来、ずっと読み継がれてきた絵本です。この絵本が大好きだったお父さんもいることでしょう。ゆっくり進むことしかできないローラーは、他の自動車たちに笑われながらもでこぼこ道をのろのろと登って行きます。そして、最後には・・・。

### しょうぼうじどうしゃじぶた



渡辺 茂男／作  
山本 忠敬／絵  
福音館書店

じぶたは、ちびっこでもはたらきもののしょうぼうしゃです。でも、みんなにばかにされて悲しくなっていました。そんなとき、じぶたの大活躍でとなり村の山ごやの火事を消して、すっかり人気者になりました。子どもたちに人気のある乗り物絵本です。

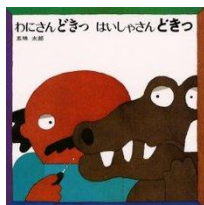
### ぐりとぐら



中川 李枝子/作  
大村 百合子/絵  
福音館書店

のねすみのぐりとぐらがこの世でいちばん好きなのは「お料理すること。食べること」なんです。大きなカステラおいしそう！  
いわずと知れた超ロングセラーの名作です。

### わにさん ときっ はいしゃさん ときっ

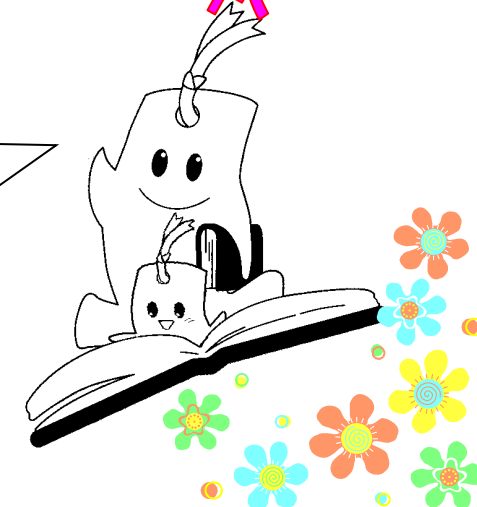


五味 太郎/作・絵  
偕成社

歯の痛いわにさんは、しぶしぶ歯医者さんに行くことに。遊んでいた歯医者さんは、わにさんが来たのでしぶしぶ治療に。歯医者さんと歯の痛いわにさんの立場は違うのに同じセリフを言います。親子で歯医者さんとわにさん役になって読んでも楽しい絵本です。

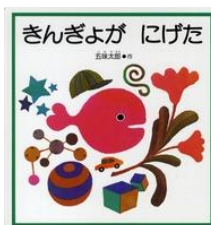
# 2歳からのおすすめ絵本

お子さんに絵本を  
読んであげましょう



沼津市立図書館

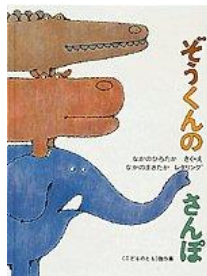
### きんぎょが にげた



五味 太郎/作  
福音館書店

「きんぎょがにげた」「どこににげた」金魚鉢から逃げだした金魚は、カーテンのもようの中に隠れたり花の中に隠れたり。子どもたちの大好きな絵さがしの絵本です。

### ぞうくんのさんぽ



なかの ひろたか/作・絵  
なかの まさたか/レタリング  
福音館書店

今日はいいい天気、散歩にでかけたぞうくんは、とちゅうで出会ったかばくんとわにくんとかめくんを背中にのせて……。明るい色彩と単純にデザイン化した絵が、子どもたちを誘います。

### にゃんきっちゃん



岩合 日出子/文  
岩合 光昭/写真  
福音館書店

にゃんきっちゃんは岩合さんちのネコです。くまのぬいぐるみとにらめっこしたり、桜の花の中にもぐりこんだり。表情豊かににゃんきっちゃんに、思わず笑顔になる写真絵本です。

### おでかけのまえに



筒井 頼子/作  
林 明子/絵  
福音館書店

ピクニックの朝、あやこは上機嫌。お母さんのお手伝いをするのですが……。あやこのお母さんとお父さんは、えらい！普通なら怒ってしまうかも。「こんな両親に育てられる あやこは幸せ」と思う絵本です。

### おおきなかぶ



A. トルストイ/再話  
内田 莉紗子/訳  
佐藤 忠良/画  
福音館書店

大きなかぶをみんなで力を合わせて抜くという単純な物語の中に、大らかさ、力強さ、ユーモアなどが満ちあふれた絵本です。お子さんと一緒に「うんとこしょ どっこいしょ」と楽しんでください。

### てぶくろ



エウゲーニー・M  
・ラチョフ/絵  
うちだ りさこ/訳  
福音館書店

ウクライナの民話です。森の中でおじさんが落としたてぶくろ。ねずみ、かえる、きつね……。いろいろな動物が入っていきます。なんと、クマまで。てぶくろは今にもはじけそうです。

### おにぎり



平山 英三/文  
平山 和子/絵  
福音館書店

あつあつごはんをぎゅっ、ぎゅっ。手の中でくるっ、くるっと回してのりを巻けば、三角おにぎりのできあがり。コンビニのおにぎりもおいしいけれど、心をこめて作ってもらったおにぎりの味は最高ですね。盛られたお皿に思わず手がのびるほどおいしいおにぎりの絵本です。

### かばくん



岸田 衿子/作  
中谷 千代子/絵  
福音館書店

動物園のかばの一日を簡潔な言葉と美しい絵で描いた絵本です。繰り返される詩のような言葉は耳にも心にも響きます。絵本ははじめてという幼い子どもたちに最適です。欧米でも翻訳出版され、高い評価を受けている素敵な絵本です。